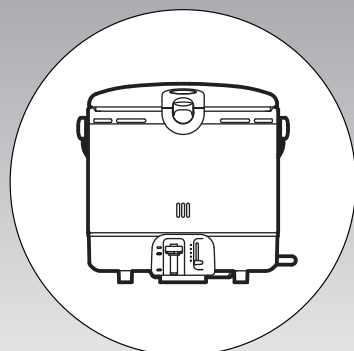
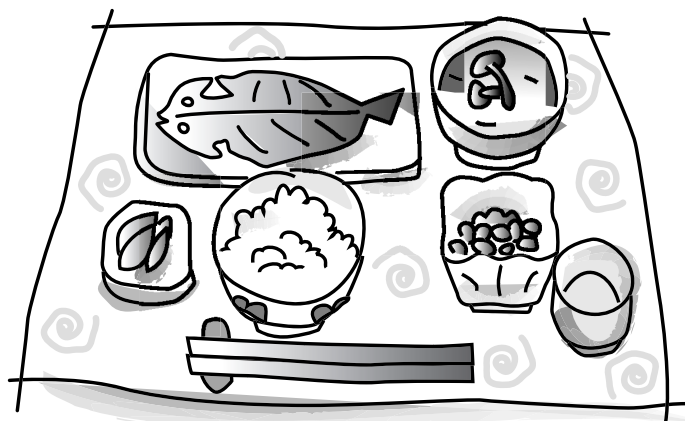
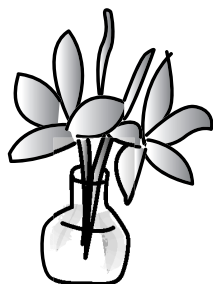
パロマガス炊飯器

保証書付

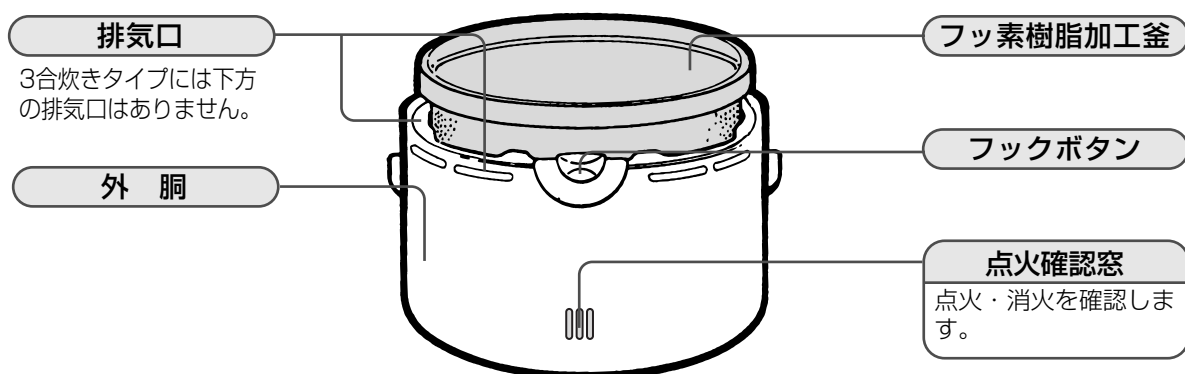
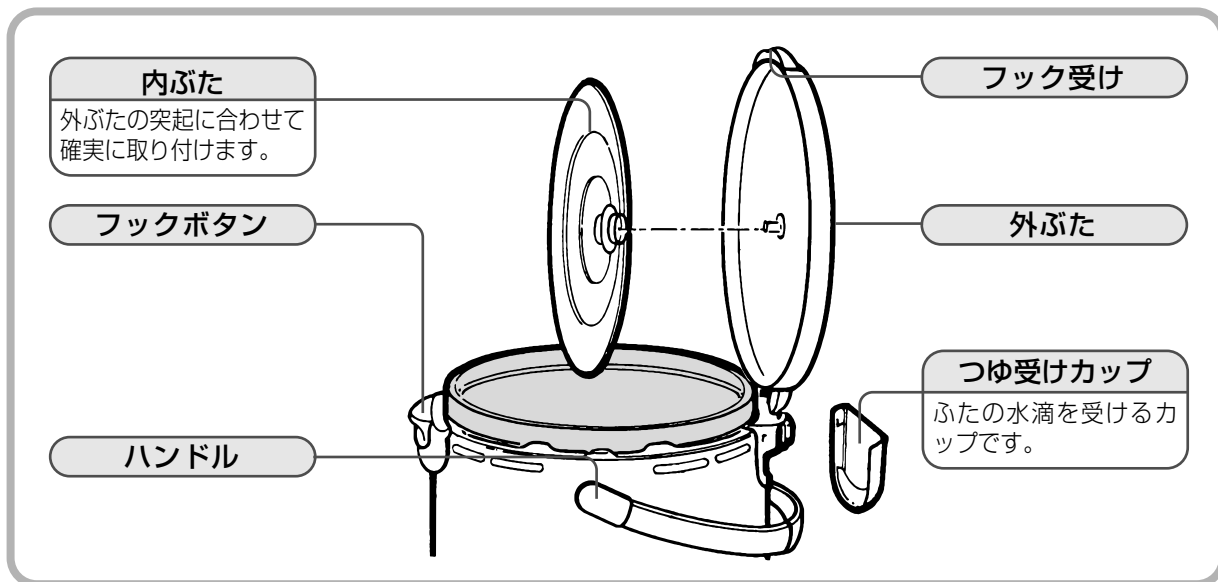
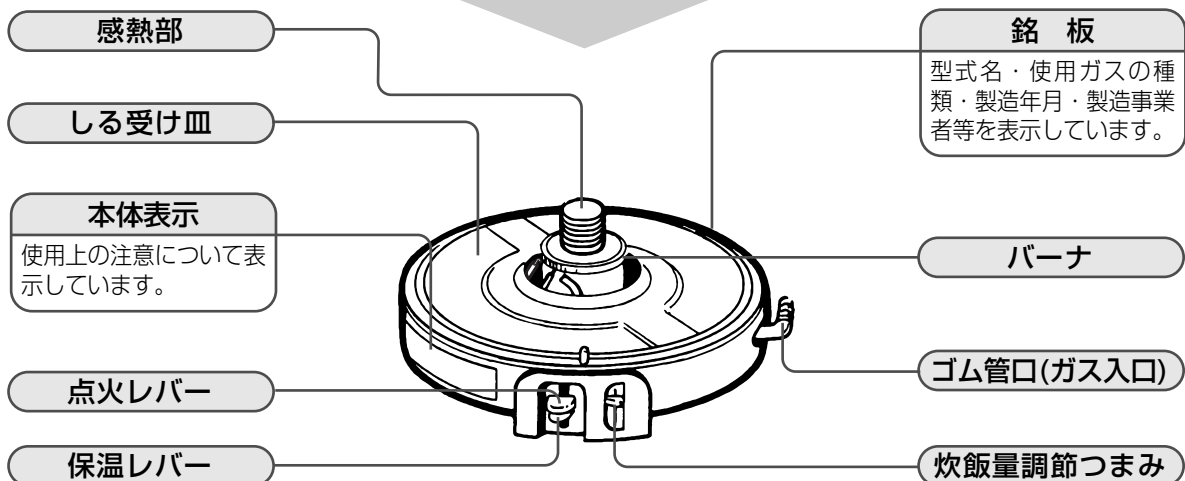
PR-60DF　PR-60EF
PR-100DF　PR-100EF
PR-150DF　PR-150EF
PR-200DF　PR-200EF

このたびはガス炊飯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くのパロマまでお問い合せください。

取扱説明書

もくじ

Paloma

1 各部のなまえ

21.12.　⑭　H　02　85258

2 必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な禁止

火気禁止

接触禁止

分解禁止

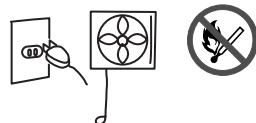
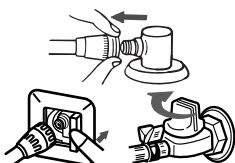
発火注意

必ず行う

⚠危険

ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
（つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具をはずす）
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する。

⚠警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する

表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。
＊おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者までご連絡ください。

型式名
LPガス　ガス消費量
製造年・月-製造番号　製造事業者名

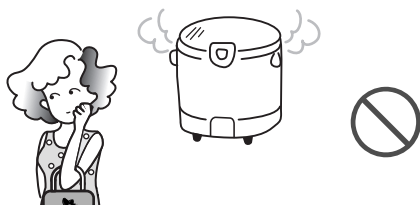
型式名　都市ガス用
ガスグループ　ガス消費量
製造年・月-製造番号　製造事業者名

分解禁止

修理・改造は高度な専門知識が必要です。工具を使用して分解したり修理・改造を行うことはお客様ご自身では絶対にしないでください。発火したり、異常作動してけがの原因となります。

⚠警告

火をつけたままの外出、就寝禁止

火災の原因になります。

機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

●機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを通さないでください。

炊飯中、排気口の上にタオル、ふきんなどをのせない

火災や不完全燃焼の原因になります。

使用中の持ち運び禁止

火がついたまま持ち運ばないでください。
火災、やけどの原因となります。

消火の確認

使用後の消火を必ず確かめてください。

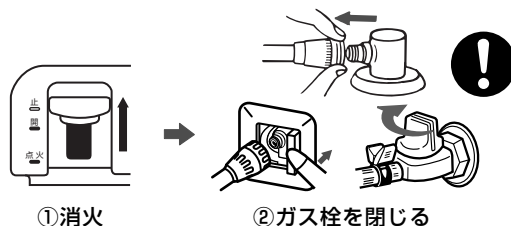
機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。

異常時の処置

①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす）

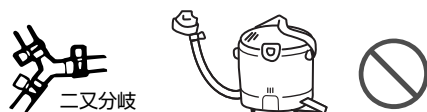
②「故障かな？と思ったら」に従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くのパロマまで連絡する。

ガス接続

ガス用ゴム管（ソフトコード）を使用する場合は、検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかり止める

ガスコードを使用の場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って、正しく接続する

①継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
②機器の上や下を通さない
③他の熱源などの高温部に触れない
④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする
⑤接続口に汚れやごみがないようにする

●正しく接続されないとガス漏れの原因になります。
●ガス用ゴム管, ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。

ゴム管はときどき点検して取り替える

古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。

当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

⚠注意

ガス事故防止

閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。
＊自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。

内釜をセットするとき、炊飯器内側にしゃもじ等の異物が無いことを確認する

異常燃焼や火災の原因になります。

炊飯中や炊飯直後に蒸気口・排気口に手や顔を近づけない

蒸気や排気でやけどをするおそれがあります。

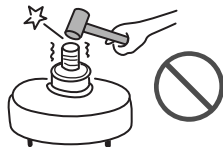
点火操作をするときは点火確認窓に目を近づけない

炎で顔にやけどをするおそれがあります。

この機器の点火装置以外の方法では点火しない

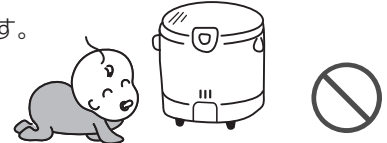
やけどをするおそれがあります。

感熱部に強いショックやキズを与えない

感熱部が故障する原因となります。

炊飯以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。
＊こんろとして使用しないでください。

幼児や小さな子供に触らせない

思わぬ事故の原因になります。

内釜をセットするときは上端部を持つ

内釜と本体に手をはさまれ、ケガをすることがあります。

水平で安定したところに設置する

事故や故障の原因になります。

使用中や使用直後は操作部以外は触らない

機器本体とその周辺が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。
＊特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。

点火操作をしても点火しない場合は点火レバーを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

おねがい

■この機器は家庭用ですので、業務用にお使いになると著しく寿命が縮まります。
■初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

3 設置について

準備と確認

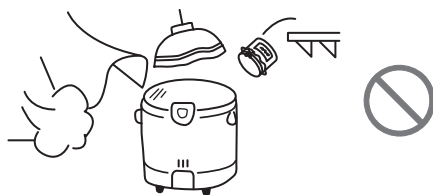
①箱から機器の底を持って取り出し、あて紙や梱包部材を取り除く
②ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる
③合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する

設置場所

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。
＊防火措置は各地の火災予防条例に従ってください。

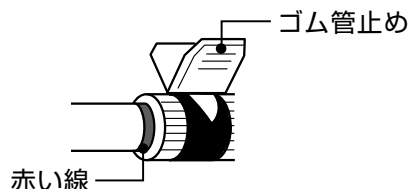
⚠警告

下記の条件を満たしている場所をお選びください。
☆設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。

●換気が良い
●周囲に可燃物がない
●水平で安定している
●風が吹き込まない
●落下物の危険がない
●水や熱がかからない
●幼児の手が届かない
●上に湯沸器がない
●上に照明器具などの樹脂製品がない

ゴム管の接続の場合

★用意するもの

φ9.5mmガス用ゴム管（新品）1本、ゴム管止め2個
（都市ガス用とLPガス用があります。お使いのガスに合わせてお選びください。）

①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込み、ゴム管止めで止める
③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

周囲の防火措置

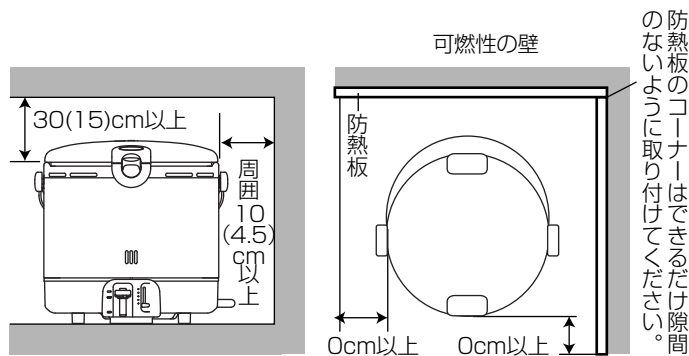
各地の火災予防条例に従って防火措置を行ってください。

⚠警告

ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合でも、下記①、②の防火措置を必ず行う

→伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。
☆設置後に、機器の周囲の改装をする場合も設置基準をお守りください。

①可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する
周囲の可燃物より10cm以上、上方は30cm以上離します。

②　①の条件を満たせない場合は防熱板を取り付ける
金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。不燃材を取り付けた場合は(　　)内の寸法に従ってください。

4 炊飯の準備

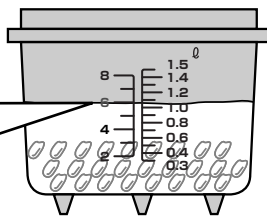
1 お米を手早く洗う

●最初にたっぷりの水を加えてさっとかき混ぜ、すぐに水を捨てます。
その後は水のにごりがなくなるまで洗います。

おねがい

●洗いかたが不十分な場合は、こげや保温時の臭いの原因になります。
●一度水に浸したお米は砕けやすく、長く洗米されると砕け米が多くなります。
また、力を入れすぎるとお米が砕けやすくなります。
●砕け米・粉米などが混じって炊飯すると風味を損ね、早切れ、炊きむら、着色の原因になります。

2 水かげんをする

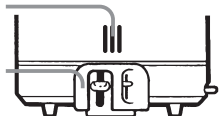
●かまを水平な台の上に置いてお米を平らにならし、内側にある水位目盛りで合わせてください。
●目盛りはめやすですので、お好みに合わせて水加減してください。
特にやわらかく炊きたいときでも、水増しの量は1目盛りまでにしてください。
●お米をおいしく炊くために、しばらく水に浸しておきます。
●かまの内側にある水位目盛りは右側が「リットル」、左側が「合」を示します。
●無洗米を浸漬すると、米の表面に気泡が付着しますので、底の方から数回かき回して吸水しやすくしてください。また、水に濁りがある場合は、一度軽く洗ってください。無洗米を炊く場合の水量および浸漬時間は「無洗米メーカーの炊きかた」に従ってください。

[例] PR-150DF

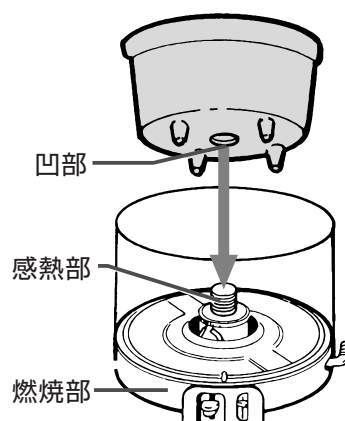
お米を水に浸しておく時間		
季　節	春～夏	秋～冬
白　米	30分以上	60分以上
胚芽精米 輸入米・古米	60分以上	90分以上
無洗米	「無洗米メーカーの炊きかた」に従ってください。	

＊ただし、14時間以上浸しておくと変質の原因となります。

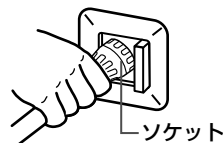
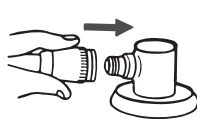
おねがい　表示以外の炊飯量以上および以下での炊飯はしないでください。ふきこぼれたり、炊きむらの原因となります。

3 外胴を燃焼部にのせる

●外胴は点火確認窓が、正面の点火パネルの上になるようにのせます。
●外胴が正しくのっていないと、点火操作ができなかったり、早切れしたり、こげる原因となります。

4 かま底の凹部と燃焼部の感熱部がかみ合うように、かまを正しくのせる

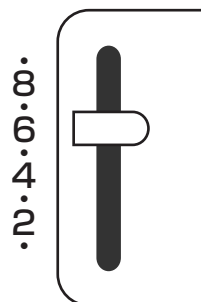
●釜の外側や炊飯器内側に付いた米粒・水は必ず拭き取ってからセットしてください。

5 フック受けを静かに押さえ込み、ふたを閉じる

●“カツン”と音がして閉まります。
●ハンドルは必ずたおしておいてください。
●フックボタンを指で押さえればふたが開きます。

6 点火レバー、保温レバーが「止」の位置にあることを確認した後、ガス栓を全開にする

5 炊飯のしかた

1 炊飯量に応じて、炊飯量調節つまみをあわせる。

●炊飯量に見合った火力に調節できます。

●目盛りはめやすです。お好みにより微調整してください。
●具入りのごはんを炊くときは、炊飯量より多めのめもりに合わせてください。
●少ないお米を炊くときに、お好みにより水を多くするときは、炊飯量より多めのめもりに合わせてください。炊飯時間が長くかかることがあります。

【例】PR-150DF

2 ①点火レバーを下へ「カチッ」と音がするまでゆっくりいっぱいに押し下げる

●保温レバーも一緒に動きます。

②手を離しても点火していることを確認する

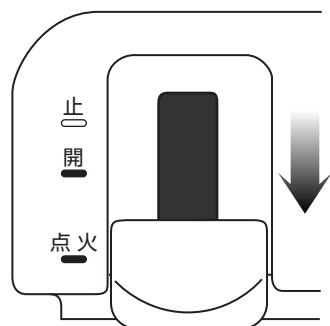
●使用中もときどき燃焼を確認してください。

⚠注意

点火操作をするときは点火確認窓に目を近づけない

→炎で顔にやけどをするおそれがあります。

万一点火しないときは、点火レバーと保温レバーを「止」の位置までもどした後、いったん釜をはずしてガスを逃がす。その後かまをセットし直し、改めて点火操作を行う

→ガスを逃がさないと爆発点火ややけどの原因になります。

3 ①ご飯が炊きあがると、自動的に点火レバーが「止」の位置にもどり、メーンバーナが消火する

●ふたを開けないで、15分程むらしてください。

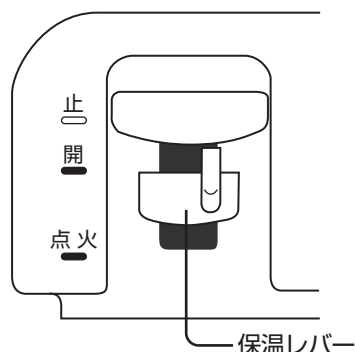
●むらしが終わったら、ベタついたり、固まったりするのを防ぐため、必ず早めにごはん全体をほぐしてください。

3合炊きタイプをお使いの場合、保温機能がついておりませんので、消火を確認後ガス栓を閉める

※3合炊きタイプには保温機能はありません。

②メーンバーナ消火後、保温バーナのみが燃焼し、保温状態になる

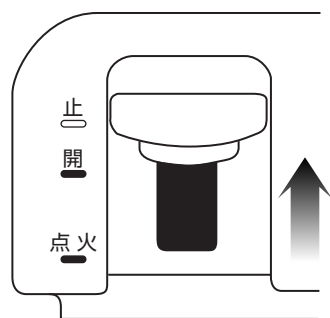
●保温時間は2〜3時間が限度です。

●保温の必要がないときは、保温レバーを上にいっぱいに戻して保温バーナを消火してください。

4 保温レバーを「止」の位置まで戻し、消火を確認後必ずガス栓を閉める

●燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

⚠注意

炊飯直後、かまを移動させる場合は、ビニールクロス、畳等の上に直接置かない

→かまの底部が高温になっているため、火災の原因になります。

6 点検とお手入れ

⚠注意

機器を水につけたり、水をかけたりしない
→不完全燃焼・故障の恐れがあります。

おねがい

●点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
（機器が冷えるまで時間がかかります。）
●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
●「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
●安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。（有償）

点検のポイント

点検は常時行ってください

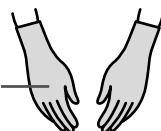
1.機器の周りに可燃物等はありませんか？
2.各部品は正しくセットされていますか？
3.ゴム管は正しく接続されていますか？
4.ガス臭くありませんか？
5.汚れていませんか？

お手入れのしかた

●機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。ケガや故障の原因になります。
●お手入れの後は各部品が正しくセットされているか確認してください。

⚠注意

お手入れは手袋をはめてする
→はめないと機器の端面などでケガをするおそれがあります。

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください

おねがい

シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。また、印刷塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷付けます。

外ぶた・外胴・しる受け

水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とした後、洗剤分をふき取り、からぶきする

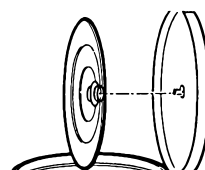
＊PR-60EF／PR-100EF／PR-150EF
PR-200EFのステンレス外ぶた・外胴の汚れが排気熱で焼き付いた場合、クレンザー等で軽くみがいてください

おねがい

燃焼部内を水でぬらさないでください。

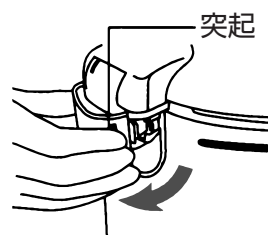
内ぶた

外ぶたより取りはずし、水洗いする

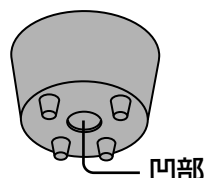
●取りはずすときは、内ぶたを持って、もう一方の手で外ぶたをささえ、手前に引くようにして取りはずしてください。

つゆ受けカップ

つゆ受けカップにたまったつゆはその都度捨て、水洗いした後、乾いた布で水気をふき取る

取りはずしかた つゆ受けカップの突起に指をかけ、(左方向へ）回転させながら取りはずす

取り付けかた みぞを合わせ奥まで差し込む

か　ま・凹部（かま底）

使用後はこめ粒、おねば等を洗い落とし、常に水切りよく保存しておく

●特にまぜごはん等の後のお手入れや水切りは、十分行ってください。
●凹部の汚れはふき取ってください。

フッ素樹脂加工がまについて

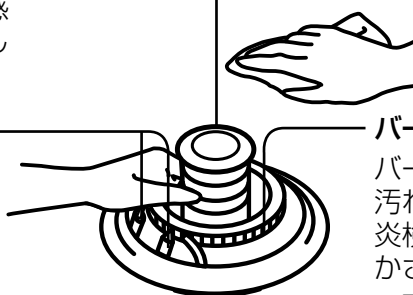
●しゃもじはプラスチック製または木製のものを使用し、かまを洗うときはやわらかいスポンジをお使いください。(スチールウール、たわし、みがき粉などは使用しないでください。)
●かまの中で食器や野菜などを洗うことはおやめください。
●酢などの酸の強いものを使用することはおやめください。
●使っているうちにピンホール（針先程度の穴）やはく離が発生しても当初はフッ素樹脂の性能には変わりありません。しかし、著しくはく離が進行して使用に不便をきたすようなときは、新しいかまをお買い求めください。

感熱部

感熱部の頭部

感熱部の頭部が汚れたときは、感熱部に片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

電極・炎検出部

汚れや水分が付いたときは、取り付け位置を動かさないように注意して、やわらかい布でふき取る
＊汚れや水分が付いていると、点火しにくくなります。

バーナ炎口

バーナがつまっているときや汚れのひどいときは、電極・炎検出部の取り付け位置を動かさないように注意して、バーナをブラシで掃除する

7 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常のあるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現　　象	原　　因	処置方法
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作をくり返す
	点火操作が不適切	点火レバーを押す時間を長くする
	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	お手入れをする
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する
	かまのセット不良	正しくセットする
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換する
ごはんがうまく炊けない 自動消火しない 早切れする ふきこぼれが多い ごはんがこげる 炊きむらがある ごはんがふやける	機器が傾いている	正しく設置する
	かまのセット不良	正しくセットする
	かま底の凹部、感熱部が汚れている	お手入れをする
	外ぶた・内ぶたが確実に閉まっていない	確実に閉める
	お米の量、水かげんが不適切	「炊飯の準備」に従う
	むらしをしていない	炊きあがり後15分ほどむらす
	赤飯・おこわ・まぜごはん等を多めに炊いた	具・お米の量を共に減らす
	ザルで水切りしている	洗米後は必ず水に浸す
	浸し時間が適切でない	表を参照する
	割れ米になっている	正しく洗米する
	炊きあがり後、ごはんをよくほぐしていない	ほぐして水分を飛ばす
	ごはんにぬか分が残っている	正しく洗米する
うまく保温できない (3合炊きタイプには保温機能はありません。)	保温時間は2〜3時間が限度です	

こんな場合は故障ではありません。

故障ではない場合	理　由
点火・消火の時に「ジー」「ボッ」という音がする	点火音・消火音で異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	ガスの通過音、異常ではありません。

立消え安全装置が作動したとき

風やふきこぼれなどで炎が消えたとき、自動的にガスを止める装置です。
消火に気付いたときは、点火レバーを「止」の位置にもどしてください。
再点火するときは、周囲にガスがなくなるのを待ってから点火操作してください。

保管とアフターサービス

保管(長期間使わないとき)

汚れを取り、お買い求めになったときの箱に入れて、湿気やほこりの少ないところで保管してください。特にゴム管口にはほこりが入らないように注意してください。

アフターサービスについて

■点検・修理を依頼されるとき

前ページ「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。**アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。**

尚、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860 でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 現象(できるだけ詳しく)
3. 品名・型式名(銘板表示のもの)
4. ご購入日・ガス種
5. 道順・目標

受付時間	平日　9：00～18：30 土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：00（修理受付のみ）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1－1	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20－10	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6藤枝ビル6階	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6－23	052-824-5188	052-824-5670
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8－12	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、最低5年間保有しております。
バーナキャップ、受け皿、ごとく等が長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。
お買い求めの際は、必ず銘板の器具名をお知らせください。

■ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

■製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。

〈例〉

■その他ご不明の点は

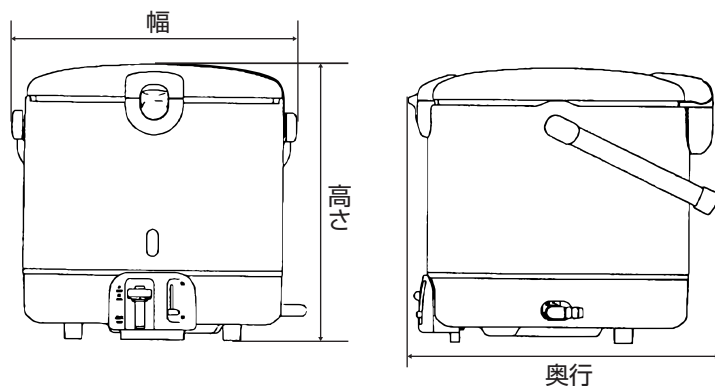
お買い上げの販売店かお近くの当社または「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	TEL 052-824-5145

9 仕　様

品　名		PR-60DF PR-60EF	PR-100DF PR-100EF	PR-150DF PR-150EF	PR-200DF PR-200EF
器具名		PR-60DF PR-60EF	PR-100DF-1 PR-100EF	PR-150DF-1 PR-150EF	PR-200DF-1 PR-200EF
型式名		H-1-1	H-2-1	H-3-1	H-4-1
種　類		ガス炊飯器			
点火方式		圧電点火方式			
外形寸法（高さ×幅×奥行）		217×256×279mm	237×256×279mm	255×300×322mm	282×300×322mm
質量（本体）		3.0 kg	3.0 kg	3.7 kg	3.9 kg
炊飯量	最　小	0.09L(0.5合)	0.18L(1合)	0.3L(1.6合)	0.36L(2合)
	最　大	0.6 L (3.3合)	1.0L(5.5合)	1.5L(8.3合)	2.0L(11合)
ガス接続		ϕ9.5mmガス用ゴム管			
安全装置		立消え安全装置			

使用ガスグループ		ガス消費量 kW			
		PR-60DF PR-60EF	PR-100DF PR-100EF	PR-150DF PR-150EF	PR-200DF PR-200EF
都市ガス用	12A	0.866	1.30	1.84	2.22
	13A	0.930	1.40	1.98	2.38
	L1(6B,6C,7C用)	0.733	1.28	1.74	2.09
	L2(5A,5AN,5B用)	0.733	1.15	1.69	1.94
	L3(4A,4B,4C用)	0.733	1.12	1.67	1.91
	6A	0.860	1.38	1.98	2.23
	5C	0.733	1.27	1.79	2.20
LPガス用		0.938	1.40	1.99	2.39

■寸法図

保 証 書

品　名	ガス炊飯器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書､本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には､お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は､お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ､本書をご提示ください｡なお､離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には､お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）､落下等による故障および損傷
(ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
(ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
(ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので､紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　様	保証期間	お買い上げ　年　月　日から１年
	ご住所　〒	販売店名	店名
			住所
	お電話		電話番号

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

年　月　日	修 理 内 容	サービス員㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。